

数 学

(120 分)

(令和 6 年度 前期日程)

注意事項

問題冊子	解答用紙
<ol style="list-style-type: none">試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけない。問題冊子は全部で 9 ページである。表紙を開くと白紙があり、その裏が 1 ページ目である。不鮮明な印刷、ページの脱落に気付いたときは、試験監督者に申し出ること。問題冊子は持ち帰ること。	<ol style="list-style-type: none">すべての解答用紙に受験番号、氏名を記入すること。記入を忘れたとき、あるいは誤った番号を記入したときは失格となることがある。解答用紙の枚数は、5 枚である。解答は、問題番号と同じ番号の解答用紙の表面に記入すること。なお、解答は答えだけでなく途中の計算も記入すること。

1 (50 点)

3 次関数 $f(x) = \frac{1}{3}x^3 - x + a$ について、次の問いに答えよ。ただし、 a は定数とする。

- (1) $a = \frac{2}{3}$ のとき、 $y = f(x)$ のグラフをかけ。
- (2) $0 \leq a < 2$ のとき、区間 $-\frac{3}{2} \leq x \leq \frac{3}{2}$ における $|f(x)|$ の最大値を a を用いて表せ。
また、そのときの x の値を求めよ。

注意：以下の余白、および右ページは計算用である。解答は、解答用紙に記入せよ。

[2] (50点)

a を正の実数とする。関数 $y = ax^2 + a^3$ のグラフを C_1 , 関数 $y = ax^2$ のグラフを C_2 とする。このとき, 次の問いに答えよ。

- (1) C_1 上の点 $P(p, ap^2 + a^3)$ における接線を ℓ とする。 ℓ の方程式を求めよ。
- (2) ℓ は, C_2 と 2 点 A, B で交わる。P は線分 AB の中点であることを示せ。
- (3) C_2 と ℓ が囲む図形の面積を S とする。 S を a を用いて表せ。

注意：以下の余白, および右ページは計算用である。解答は, 解答用紙に記入せよ。

3 (50点)

$\triangle OAB$ において、 $\overrightarrow{OA} = \vec{a}$, $\overrightarrow{OB} = \vec{b}$ とするとき、次の問い合わせに答えよ。

(1) $\angle AOB = \theta$ とおく。 $\cos \theta$ を \vec{a} , \vec{b} を用いて表せ。

(2) (1) の結果を利用して、原点OとA(a_1, a_2), B(b_1, b_2)を頂点とする $\triangle OAB$ の面積 S は

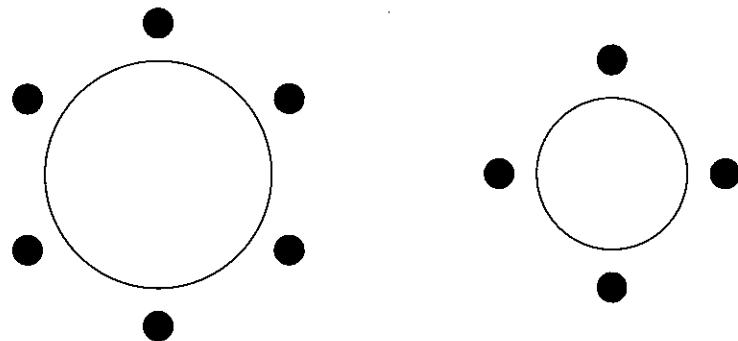
$$S = \frac{1}{2} |a_1b_2 - a_2b_1|$$

と表されることを証明せよ。

注意：以下の余白、および右ページは計算用である。解答は、解答用紙に記入せよ。

4 (50点)

図のように、6人が向かって座れる大きな円形のテーブルと、4人が向かって座れる小さな円形のテーブルがある。このとき、次の問い合わせに答えよ。



- (1) 6人の男子と4人の女子がくじ引きで座席を決めるとき、小さな円形のテーブルにすべて男子が座る確率を求めよ。
- (2) 男子と女子それぞれ5人ずつがくじ引きで座席を決めるとき、どちらのテーブルも男子と女子が交互に座る確率を求めよ。

注意：以下の余白、および右ページは計算用である。解答は、解答用紙に記入せよ。

5 (50 点)

数列 $\{a_n\}$ の一般項が

$$a_n = 1^n + 2^n + 3^n + 4^n \quad (n = 1, 2, 3, \dots)$$

であるとき、次の問いに答えよ。

- (1) a_1, a_2, a_3, a_4, a_5 の値をそれぞれ求めよ。
- (2) a_n が 10 の倍数になるための n の条件を推定し、その推定が正しいことを数学的帰納法を用いて証明せよ。

注意：以下の余白、および右ページは計算用である。解答は、解答用紙に記入せよ。